

11102非鉄金属鋳物業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	18 ～ 19	会社から帰宅途中、駅改札を出て、別の路線の改札口に向かっていったところ、走ってきた人と接触し、バランスを崩し転倒した。その際、膝靭帯損傷および膝の半月板に損傷を負った。	53	2	921	10 ～ 29
2	2020	1	11 ～ 12	アルミ鋳造品をフォークリフトで運搬中、停止した際、アルミ鋳造品が傾き、荷台の間に手を挟み、右手親指屈筋を切断した。	57	4	222	10 ～ 29
3	2020	2	11 ～ 12	スクラップ置場から、クレーンを用いて溶解用スクラップ(28t)を移動する際、ドラム缶1本をチェーン式フックで2点吊りした。その際に片方のチェーンが切れ、ドラム缶が振り子状態になり、後ろにあったドラム缶との間に腰部が挟まれて骨盤を折った。	61	6	211	30 ～ 49
4	2020	3	10 ～ 11	ダイカスト工場で、湯口切断機が停止したので、復旧のため治具上にある製品を排出・除去した。別のオペレーターに取り出し口のロボットを上昇させるよう口頭で指示したところ、確認が足りず、機械内に被災者の右手が残った状態でボタンが操作がされた。その際、右手親指が治具に挟まれて骨折し、裂傷を負った。	19	7	169	100 ～ 299
5	2020	3	20 ～ 21	工場中、マシニング装置の清掃中、油圧回路の切替スイッチを誤って動作させ、切替部分に左手中指先端を挟み骨折した。	35	7	159	10 ～ 29
6	2020	3	9 ～	アルミ製品の研磨作業中、砥石が製品の溝に食い込み、サンダーの本体が飛んでしまい指に当たり右第3指に切創を負った。	48	4	153	10 ～

			10						29
7	2020	4	11 ~ 12	<p>鑄造工場内、砂型造型場で、クレーンを用いて二人一組で解体作業を行っていたとき、クレーン操縦者が地切り確認を怠ったため、吊っていた砂型の枠が横転し、別の枠と衝突した。その際、レール上の定盤（木製）を取ろうとしていた被災者の右手が枠との間に挟まれ、右手人差し指を骨折した。</p>	65	6	211	~ 299	
8	2020	4	16 ~ 17	<p>工場内アルミ溶解炉で、溶解炉のフィルターを仕切り板に交換する際、仕切り板をアルミニウム溶湯に挿入しとき、溶湯が跳ねて左足に掛かり、潰瘍性熱傷を負った。</p>	60	11	521	1~ 9	
9	2020	5	8 ~ 9	<p>溶解工場内の溶解ポット炉の前で、ポット炉内の溶けた亜鉛の表面不純物（鉄、アルミ）を取り除くとき、冷えすぎた鉄容器に入れてしまい、温度差により溶けた亜鉛が飛び跳ねて衣服に燃え移り、背中と両足太腿裏側を火傷した。</p>	73	4	519	10 ~ 29	
10	2020	6	18 ~ 19	<p>バンドソーで品物の切断作業時、作業台に品物を準備するとき、電源を切らずに作業をしたため、刃に手が接触し、左示指切断を負った。</p>	41	8	159	30 ~ 49	
11	2020	6	8 ~ 9	<p>鑄物場で自硬性鑄型の砂等を調合し、ミキサーで攪拌していたところ、取り出し口に指を突っ込んで、プロペラに左手中指が巻き込まれ、損傷した。</p>	60	7	162	1~ 9	
12	2020	6	16 ~ 17	<p>工場でプレス作業中、床に落としたボールペンを拾う際、左手でプレス機にセットしてある製品を押さえていたところ、左膝が作業レバーに当たったためシリンダーが降りてきて、人差し指が挟まれて切断した。</p>	18	7	154	100 ~ 299	
13	2020	7	15 ~ 16	<p>工場で鑄造作業中、溶けた鉄を取鍋に注湯し、残った溶鉄を戻す作業中、取鍋の回転軸に飛び散った鉄が、回転しなかったため作業員2人で回転させていたところ、鉄が取れて急に取鍋が回転し、溶鉄が右足に入って踝から下に火傷を負った。</p>	26	11	519	100 ~ 299	

14	2020	9	14 ～ 15	工場内の鑄造ラインで鑄造木型を片付け中、木型を床に置こうとしたとき、取っ手が外れ、木型が落下して縁が足に当たり左足親指を骨折した。	24	4	379	～ 29
15	2020	9	10 ～ 11	作業所内で昇降盤を回転し、木型を削っているときに、左手薬指が刃に接触し、左手薬指第1関節を損傷した。	78	8	131	1～ 9
16	2020	9	5 ～ 6	工場内で、車両アルミホイールの鑄造作業中、パレットからインゴットを手作業で運搬し、台車に載せる作業を繰り返した際、腰椎椎間板症を発症した。	46	19	921	50 ～ 99
17	2020	10	17 ～ 18	ダイカストマシン（650t）の射出付近を清掃のため、鉄板に溜まっているアルミを除去しようとしたが、取れず、鉄板を外そうと持ち上げた。その際、射出のカップリングに鉄板が引っ掛かり、そのまま後ろに持っていかれ、左手指5本を挟まれて、左人差し指と中指を切断、親指と薬指を骨折した。	37	7	169	10 ～ 29
18	2020	10	13 ～ 14	梱包エリア内で作業中、パネル搬送台車の位置に気付かず、台車に当たり転倒して、左足膝に打撲を負った。	46	2	362	100 ～ 299
19	2020	11	12 ～ 13	工場ショット場で、はしごから下りる際、はしごの下にあったパレットの端に足を下ろしたが、踏み外して左足首をひねって捻挫した。	28	19	391	100 ～ 299
20	2020	11	10 ～ 11	工場内で、排ガスダクトを取り外して清掃した後、再度組み立てようとした。脚立上で円形フードの位置を合わせながら、片手でクレーンを操作していたところ、横行スイッチを押したため、フードが移動してきてぶつかった。その際、脚立ごと転倒し、恥骨と尾?骨を折り、左鼠径部に筋損傷を負った。	49	1	211	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\) に戻る。](#)